「生物」「環境」「食」で未来を創造する。



生産科学科4年 森 和美さん
(石川県立宝達高等学校出身)
就職内定先:カルビーポテト株式会社
生産科学科を選んだ理由:
農業が県内で唯一学べる大学で、地域に密着していること。農業を通して石川に貢献したいと感じたから。

環境科学科4年 樋口 真也さん
(石川県立寺井高等学校出身)
就職内定先:石川県庁(総合土木)
環境科学科を選んだ理由:
近年、地球規模の問題となっている地球温暖化をはじめとする様々な環境問題やその対策法について学べると感じたから。

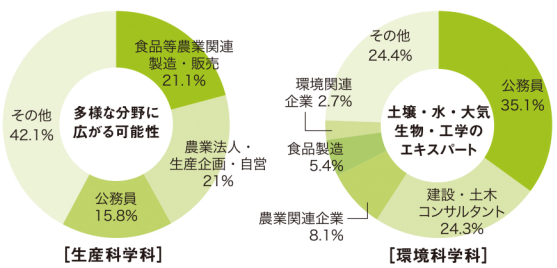
食品科学科4年 越川 彩さん
(石川県立錦丘高等学校出身)
就職内定先:辰巳化学株式会社
食品科学科を選んだ理由:
食べることが大好きで、「食」についていろんな角度から学べるという点に興味を持ったから。

石川県立大学
Ishikawa Prefectural University

もっと知りたい!学校のコト

平成30年度の学科別就職状況

全体的に公務員への高い就職率を誇っているのが特徴。社会に求められる、バイオ・食・環境のエキスパートとして、先輩たちは様々なジャンルの職種で活躍しています。



1学部3学科のコース制!!

入学試験は、学科ごとに行います。2年時に、希望するコースの確認（予備選択）を行い、基礎的な専門科目を学びます。3年進級時にコースを決定します。※各コースの希望者数等の状況によって希望の再確認、調整をさせていただく場合があります。

学部：生物資源環境学部

学科：生産科学科 Bioproduction Science ／ 環境科学科 Environmental Science ／ 食品科学科 Food Science

1年生：教養教育科目・専門共通科目　1年生は幅広く学び、自分の適性を見つけます。

2年生：コース希望確認 → コース決定

3年生／4年生：

- 生産科学コース　農業技術開発者及び生産者の基礎となる知識・技術を身につけた人材を育成
- 生産環境制御コース　施設栽培の生産環境制御・最適化－ICTの活用に対応できる人材を育成
- 先端バイオコース　バイオ技術を研究開発で活用できる人材を育成
- 環境科学コース　自然に関する広範な視点を持った環境技術者を育成
- 里山活性化コース　自然を利活用した地域振興・社会環境整備に携わる人材を育成
- 食品科学コース　食品業界で求められる幅広い知識・技術を身につけた人材を育成
- 6次産業化コース　生産・加工からマーケティングまで総合的な知識を身につけた人材を育成

主な進路

生産科学科
- 農業法人、農業関連企業
- 国家公務員、地方公務員
- 植物工場での作物生産を行う企業
- バイオ技術を活用する種苗企業や食品・医薬・化学企業
- 中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科、農業）
- 大学院進学

環境科学科
- 国家公務員、地方公務員
- 農業関連企業
- 環境や農業土木関連の企業
- 環境設備等の関連企業
- 中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科、農業）
- 大学院進学

食品科学科
- 食品製造、流通等に関わる企業
- 製薬企業、化粧品企業
- 農業生産に参入する食品関連企業
- 加工食品の販売に参入する農業法人等
- 中学校教諭（理科）、高等学校教諭（理科、農業）
- 国家公務員、地方公務員
- 大学院進学

※先端バイオコースの内容は環境科学科および食品科学科からも学科ごとにアレンジされた内容で履修が可能です。※6次産業化コースの内容は生産科学科からもアレンジされた内容で履修が可能です。

石川県公立大学法人 石川県立大学　石川県野々市市末松1丁目308番地

TEL：076-227-7408

MAIL：kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp

石川県立大学



【学部】 生物資源環境学部

【学科・募集定員】 生産科学科 40名、環境科学科 40名、食品科学科 40名、大学院 32名

【授業料】 535,800円（年額）

【入学金】 282,000円（県内）、535,800円（県外）

【主な就職先】 農林水産省（林野庁）／石川県／能美市／北陸農政局／国土交通省／石川県教員／JA全農石川県本部／辰巳化学㈱／佃食品㈱／㈱国土開発センター／北陸製菓㈱／㈱福光屋／㈱箔一／㈱スギヨ／小松ウォール㈱／日本食研ホールディングス㈱／スターバックスコーヒージャパン㈱／日本郵便㈱／㈱ロフト／㈱ナリス化粧品／寿がきや食品㈱